

## 令和元年度 小熊小学校 第2回 学校運営協議会 議事録

令和元年9月30日(月)

13:30～15:30

会場/小熊小学校会議室

出席者10名、傍聴人0人

### 1 柳川会長あいさつ

- ・暑さの中、上半期が終ろうとしている。経営方針の進捗状況を子供の姿を通して確かめ合う機会としたい。
- ・岐阜市での出来事があり、いじめ防止についても考えたい。

### 2 鶴飼校長あいさつ

- ・岐阜市でのいじめ事案、山梨県での行方不明、自然災害、交通事故、虐待など命の大切さについて考えなければならない。
- ・自分を大切に、仲間を大切にすることが肝心である。
- ・家庭、地域から暴力、暴言をなくすなど、大人が本気を出していくことが大切である。
- ・学校では、トイレ改修、防犯カメラ寄附などの動きがある。

### 3 コミュニティスクール運営状況・予定について(校長)・・・別紙資料

- ・別紙資料をもとに、上半期と下半期に分けて説明
- ・プール開放中止の理由は？  
熱中症対策のため、取りやめにした。児童の安全第一を考えている。
- ・ノーメディアデーの効果はあるのか？  
家庭内の会話が増えたとか、一緒に活動することができたなどの成果はある。
- ・ノーメディアデーをもっと広げていってはどうか？  
羽島中学校の定期テストにあわせて取り組んでいる。回数は今後検討していく。
- ・コミセンの行事として収穫したもち米から餅を作ったが、夏場の餅は次の日にカビが生えていた。  
もち米のその後の利用については、コミセンと相談しながら進めていく。

### 4 コミュニティスクールだよりについて(教頭)・・・別紙資料

- ・資料に沿って説明

### 5 いじめ、不登校などについて

- ・小熊小学校いじめ防止対策基本方針、児童の実態など・・・別紙資料
- ・小熊小学校いじめ防止対策基本方針に沿って、概要を説明
- ・小熊小学校の基本的な考え方を説明  
情報共有がまず第一。隠さない。一人で解決しない。情報はすぐに校長へ上がる。
- ・いじめについて、4月～7月は認知なし。8月～9月の事案について説明

- ・相手によって感じ方が違うので、一律に何が良くて何が悪いのか、判断が難しい。
- ・された側の子が嫌な思いをしていることに寄り添って対応していく。
- ・親の世代でも、いじめの捉えかたが異なっている。

## 6 授業参観（5時間目）

- ・全学級を参観した。

## 7 意見交流

- ・給食費の未納はあるか。新聞で市給食費未納のニュースを見たが、いかがなものか。  
未納者には、教頭や事務が個別に対応している。
- ・親世代で、「やられたらやりかえせ。」という風潮はないか。  
親世代でもそのような風潮はないわけではない。
- ・教育相談アンケートや個別の面談でいじめを拾いきることができるか。  
保護者から聞いたり、他の方から聞いたりして情報を集めている。
- ・保育園から小学校6年生までずっと一緒によい仲間関係がみられる。
- ・世代間の子育てに関する思いのずれを感じることもある。
- ・卒業文集は手で書くことに意味はある。文集という形にするかどうかは考えなければならないが、卒業を前に自分を振り返ってまとめることには意味があると思う。

## 8 その他

- ・全国学習状況調査結果を口頭で報告。国語、算数ともに全国平均より上回っている。
- ・羽島中学校区学校運営協議会連絡協議会 10月17日（木）15：00～（新規）
- ・第3回小熊小学校運営協議会 1月29日（水） 13：30～15：30
- ・学校行事の案内文書の発送（カレーまつりほか）
- ・予算の執行状況（中間報告）・・・会長さんに通帳、支出金調書を見ていただいた。

## 9 会長より

- ・落ち着いていきいきと学習していた。学校経営がうまくいっている証拠である。小規模ならではの経営が見られた。応援したいので、声をかけてほしい。

## 10 校長よりお礼

- ・先生が元気に、子供も元気に、元気な地域に、そんな学校にしたいと思う。本日はありがとうございました。